

平成29年7月11日（火）
（公財）石川県埋蔵文化財センター
担当：調査部特定事業調査グループ
 G L 松山 和彦
 調査部国関係調査グループ
 G L 川畑 誠
電話：076-229-4477
内線：6540

北陸新幹線建設工事に伴う発掘調査現地説明会の案内について

石川県教育委員会が独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構から依頼を受け、公益財団法人石川県埋蔵文化財センターに委託している北陸新幹線関連埋蔵文化財調査については、小松市、加賀市で発掘作業を進めております。

北陸新幹線建設に伴う発掘調査について現場を順次公開することとし、別紙のとおり小松市大領遺跡、加賀市大菅波コショウズワリ遺跡の発掘調査現地説明会を実施します。

平成29年7月11日（火）
（公財）石川県埋蔵文化財センター
担当：調査部特定事業調査グループ
GL 松山 和彦
電話：076-229-4477 内線：6540

小松市大領遺跡^{だいりょう}現地説明会の開催について

- 1 日 時 平成29年7月23日（日） 午前11時（1時間程度）小雨実施
- 2 場 所 小松市大領町・今江町地内 大領遺跡発掘調査現場（別添図参照）
- 3 対 象 県民・考古学に関心のある方。（事前申し込み不要）
- 4 調査主体 石川県教育委員会
調査担当：公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- 5 調査期間 平成29年4月～8月（予定）
- 6 調査面積 1,940㎡
- 7 内 容 発掘調査の概要説明と出土品の公開
- 8 調査成果 大領遺跡は、木場潟の北側約500mに位置する。発掘調査の結果、古代と中世の2本の道路状遺構を確認した。

古代のものは幅約9.5mで両側に側溝が伴い、中世のものは幅約7.5mで同じく両側に側溝が伴う。両道路状遺構とも延長約30m分が、直線状にみつかった。

出土遺物から、古代の道路状遺構は、8世紀後半～9世紀初頭頃、中世の道路状遺構は、16世紀後半頃には機能していたと考えられる。

遺跡付近は、現在も国道やJR北陸本線が走る交通の要衝であり、今回の発見は南加賀地域における古代・中世の陸上交通路のあり方を知る上で、貴重な手がかりとして注目される。

- 9 主 催 石川県教育委員会・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- 10 問合せ先 ○(公財)石川県埋蔵文化財センター 調査部 特定事業調査グループ
電話 076-229-4477 (内線6540)
- 石川県教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財グループ
電話 076-225-1842 (内線5629)





大領遺跡 調査地の遠景 (北東から)



大領遺跡 調査地の遠景 (南西から)



古代の道路状遺構 検出状況 (北東から)



中世の道路状遺構 検出状況 (南西から)

平成29年7月11日（火）
（公財）石川県埋蔵文化財センター
担当：調査部国関係調査グループ
GL 川畑 誠
電話：076-229-4477 内線：6540

加賀市大菅波^{おおすがなみ}コショウズワリ遺跡現地説明会の開催について

- 1 日 時 平成29年7月23日（日） 午後2時（1時間程度）小雨実施
- 2 場 所 加賀市大菅波町地内 大菅波コショウズワリ遺跡発掘調査現場
(別添図参照)
- 3 対 象 県民・考古学に関心のある方。（事前申し込み不要）
- 4 調査主体 石川県教育委員会
調査担当：公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- 5 調査期間 平成29年4月～7月（予定）
- 6 調査面積 3,340㎡
- 7 内 容 発掘調査の概要説明と出土品の公開
- 8 調査成果 大菅波コショウズワリ遺跡は、加賀市北部の江沼盆地の北東側に位置する遺跡である。

昨年度からの2ヶ年に及ぶ発掘調査により、北側の丘陵から八日市川へと向かって流れていた旧河道の両岸において、古墳時代から室町時代にかけての建物群を確認した。

また、江戸時代前期の井戸群なども検出しており、川とともに生活を営んできたムラの景観や変遷を明らかにすることができた。
- 9 主 催 石川県教育委員会・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
- 10 問合せ先 ○（公財）石川県埋蔵文化財センター 調査部 特定事業調査グループ
電話 076-229-4477（内線6540）

○石川県教育委員会事務局文化財課 埋蔵文化財グループ

電話 076-225-1842 (内線5629)





大菅波コショウズワリ遺跡 調査地の遠景（南西から）



旧河道のそばに建つ掘立柱建物群